

令和6年度

葉山町生ごみ分別収集実証実験（一色台地区）

調査報告書

葉山町

環境課・クリーンセンター

令和6年6月

目次

I 総則

1	調査の背景	1
2	調査概要	2
3	実験内容	3
4	広報	4

II 実証実験

1	実証実験結果まとめ	7
2	組成分析調査	14
3	調査集計	15

III 意見・質問・要望等

	アンケート	26
--	-------	----

(参考)

	上山口・真名瀬・三ヶ浦・一色台地区の実験結果（概要）	36
--	----------------------------	----

I 総則

1 調査の背景

クリーンセンター再整備において、逗子市との共同施設である生ごみ資源化処理施設を整備予定としており、生ごみ进行处理するためには、現在の「燃やすごみ」から、調理残渣や食べ残しなどの「生ごみ」と使用済みティッシュや革製品、紙おむつなどの「燃やすごみ」を分別して収集する必要があります。

分別収集方法は、現行の戸別収集で行っている週2回の燃やすごみの回収を、生ごみ1回、燃やすごみ1回とすることを前提として、上山口地区及び真名瀬地区で実験を実施してきましたが、この実験では保管時における生ごみの臭いや保管場所がない等との理由により、週1回収集は厳しいとの意見を多数いただきました。

その結果を踏まえ、三ヶ浦地区では実証実験期間中に生ごみの収集を週1回から週2回に変更し、その効果検証を行いました。

更なる比較検討を行うため「生ごみ週1回収集」と「生ごみ週2回収集」の2地区から検証結果を伺う必要があるとともに、保管時における課題抽出及び解決方法を確認するため、実証実験を実施するものです。

2 調査概要

(1) 調査の名称

令和6年度葉山町生ごみ分別収集実証実験（一色台地区）

(2) 調査の目的

生ごみ分別収集における生ごみ及び燃やすごみの排出課題に関する調査

(3) 実施時期

- ① 準備周知：令和6年4月12日（金）から4月21日（日）まで
- ② 分別収集：令和6年4月22日（月）から5月24日（金）まで

(4) 対象地区

一色台地区 116世帯（令和6年4月1日現在）

(5) 協力団体

- ① 団体名：一色台自治会
- ② 協力事項：町内会会員への周知のための町内回覧、チラシ配布及び町内会役員会等での意見交換（表I-1）を行いました。

表I-1 一色台自治会との意見交換

年月日	内容
令和6年4月4日（木）	○生ごみ分別収集実証実験の概要の説明 ○意見交換
令和6年4月12日（金）	○チラシ配布及び自治会回覧
令和6年4月13日（土） から4月17日（水）	○保管容器の貸与希望者の募集
令和6年4月18日（木）	○貸与希望者宅を訪問し、保管容器の配達を行った。
令和6年5月21日（火）	○アンケート調査配布（5月27日まで）
令和6年6月10日（月）	○生ごみ分別収集実証実験結果報告

3 実験内容

(1) 分別方法

現在の燃やすごみの分別区分について、次のとおり「生ごみ」と「燃やすごみ」に分別していただきました。

① 生ごみ

人の口に入るもの（食べられるもの）。ただし、次のものを含まず。

- 卵の殻、調理くずや食品くず
- 貝殻や骨など
- 消費期限切れやカビ、傷んだ物
- ティーバッグやドリップバッグ等、生ごみと包装等が一体となった製品は、生ごみとして出すこととしました。

② 燃やすごみ

- 「生ごみ」を除く燃やすごみ

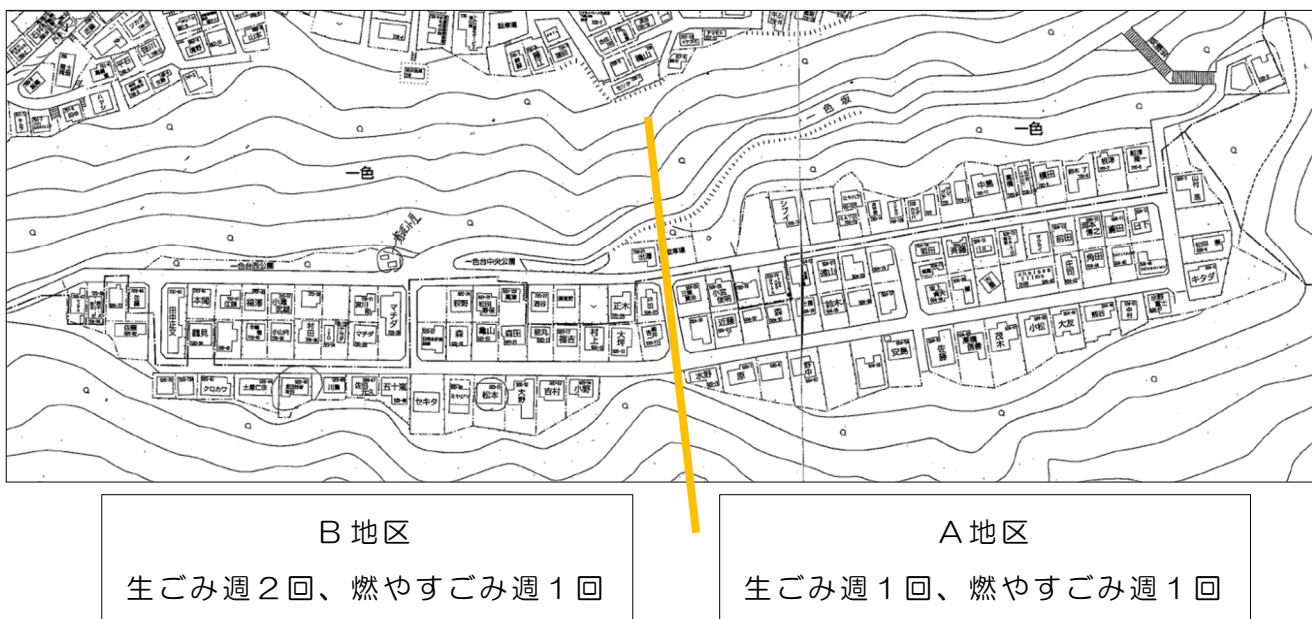
(2) 収集頻度の変更

燃やすごみの週2回収集から、「生ごみ週1回、燃やすごみ週1回」と「生ごみ週2回、燃やすごみ週1回」の2地区にエリア分けし収集しました。

A地区：生ごみ（火曜日）、燃やすごみ（金曜日）

B地区：生ごみ（火曜日及び金曜日）、燃やすごみ（月曜日）

図 I - 1 一色台自治会の区域割



(3) 排出方法

次のとおり、排出していただきました。

- ① 現在の戸別収集と同様に、収集日の8時30分までに自宅の前に出す。
- ② 生ごみ・燃やすごみともに、透明または半透明の袋に入れて排出する。
- ③ 小袋等から出して、「生ごみ」のみを入れるものとする。なお、臭いが気になる場合は袋を2重にすることも可能とする。
- ④ 水切りなどに使用された新聞紙、生ごみ保管時に使用された袋は「燃やすごみ」とする。ただし、水切りネットは「生ごみ」とする。
- ⑤ 食べ残し未開封食品等は、中身のみ「生ごみ」とし、包装は、材質別に「容器包装プラスチック」、「ミックスペーパー」、「燃やすごみ」等の区分により分別して排出する。

(4) 保管容器等の貸与

生ごみや紙おむつ等の臭い対策のため、希望者に保管容器及びバイオ消臭剤を貸与しました。

4 広報

(1) 開始時

実証実験を広報するため、4月12日に図I-2の広報資料を全戸配布しました。また、上記に合わせて、同資料を自治会内で回覧しました。

(2) 実験中

収集時に分別がなされていないと判断できる世帯及び「生ごみ」と「燃やすごみ」が分別された上で、一緒に排出されている世帯については、5月13日に図I-2の広報資料をポスト投函しました。

図 I - 2 実験開始時チラシ

一色台地区の皆様へ
葉山町役場からのお知らせ。

回覧

生ごみ分別 実証実験

4/22~

にご協力をお願いします。

令和7年3月より全町で生ごみ分別収集を開始予定としています。
収集方法を検討するため、一色台地区の皆様にご協力をいただき、5週間の実証実験を行います。収集日・品目が通常とは異なりますので、以下スケジュールをご確認ください。

なぜ生ごみの分別収集をするのか？

町では、クリーンセンター再整備事業において、道子市との共同施設となる生ごみ資源化処理施設等を建設しております。今後「燃やすごみ」のうち「生ごみ」は、焼却処理ではなく、生ごみ資源化処理施設にて堆肥化処理するため「生ごみ」を分別する必要があります。

収集方法を検討するため、一色台地区にお住まいの皆様を【生ごみ週1回・燃やすごみ週1回収集】と【生ごみ週2回・燃やすごみ週1回収集】に分け、実証実験を行いますのでご協力をお願いします。

1週・2週 収集スケジュール

2024年4月						
日	月	火	水	木	金	土
21	22	23	24	25	26	27
		生ごみ		容プラ	可燃	
28	29	30				
		生ごみ				

2024年5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			容プラ	可燃		
5	6	7	8	9	10	11
		生ごみ		容プラ	可燃	
12	13	14	15	16	17	18
		生ごみ		容プラ	可燃	
19	20	21	22	23	24	25
		生ごみ		容プラ	可燃	

3週・4週 収集スケジュール

2024年4月						
日	月	火	水	木	金	土
21	22	23	24	25	26	27
		可燃	生ごみ		容プラ	生ごみ
28	29	30				
		可燃	生ごみ			

2024年5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				容プラ	生ごみ	
5	6	7	8	9	10	11
		可燃	生ごみ		容プラ	生ごみ
12	13	14	15	16	17	18
		可燃	生ごみ		容プラ	生ごみ
19	20	21	22	23	24	25
		可燃	生ごみ		容プラ	生ごみ

分別収集の費用対効果について

ご家庭から排出されている燃やすごみのうち約40%は生ごみであることから、燃やすごみから生ごみを分別することによって、収集に係る経費は『生ごみ週2回収集・燃やすごみ週1回収集』とした場合、現状と比較して約3,000万円の経費が削減され、『生ごみ週1回収集・燃やすごみ週1回収集』とした場合には、約8,000万円の削減が算出されます。

また、燃やすごみの量を減らすことは、循環型社会の形成に寄与するだけでなく、気候変動の原因となるCO2排出量を減少させるためSDGsの取組みにも寄与します。

分別・排出方法について

- ★ 人の口に入るもの（食べられるもの）
- ★ 卵の殻、調理くずや食品くず
- ★ 貝殻や骨など



卵の殻

調理くず

食品くず

貝殻

骨

タイパッグ/ドリップバッグ ※そのまま出せます

食べ残し

注意!
食品の包装は、容積プラ・燃やすごみ・ミックスペーパー等で出してください

- 透明または半透明の袋に入れて出してください
- 臭いが気になる場合は、袋を2層にしても出せます
- 水切りネットのまま出せますが、水切りに使用した新聞紙等は燃やすごみへ



生ごみ処理容器をお使いの皆様へ

キエーロやコンポスター等の各種生ごみ処理容器を使用されている方は、引き続き自家処理での減量化にご協力をお願いします。

アンケート調査について

今後の施策展開の参考にさせていただきたいので、今回の実証実験終了後に、ご家庭での分別方法や収集回数等について、皆様のご感想をお聞きするアンケート調査を行います。改めてお知らせいたしますので、併せてご協力をお願いいたします。

問合せ：葉山町 環境課 ☎046-876-1111 クリーンセンター ☎046-876-1153

保管袋の取り扱いについて

収集頻度の減少に伴い、生ごみ及び紙おむつ等における悪臭対策のため、保管容器の買与及び消費期限の配布を行います。

希望される方は、以下『買与・配布希望表』に希望する物品の口をチェックをし、住所・氏名を記載の上、17日(水)までに一色台自治会の各部長にご提出ください。後日、町よりお届けいたします。

18日(木)以降、実証実験期間中であれば買与・配布いたしますので町環境課へお問い合わせください。

実証実験終了後、町環境課がお伺いいたしますのでご返却をお願いいたします。その際、「においを感じなくなった」や「効果は感じられなかった…」等といった、使用のご感想をお聞かせいただけます。



問合せ：葉山町 環境課 ☎046-876-1111 クリーンセンター ☎046-876-1153

キリトリ

買与・配布希望表

希望する物品の口をチェックをし、必要事項を記載の上、17日(水)までに各部長へご提出ください。

- ① 生ごみ水切りバケツ (高さ約25cm・直径約30cm)
- ② 密閉保管容器 45L(高さ60cm・幅26cm・奥行45cm)
- 30L(高さ57cm・幅23cm・奥行39cm)
- 20L(高さ47cm・幅20cm・奥行35cm)
- ③ 紙おむつ用 保管容器 (高さ47cm・幅21cm・奥行30cm)
- ④ バイオ消費期限 (無臭・100%天然成分)

住所

氏名

葉山町 _____

図 I-2 実験中チラシ

一色台地区の皆様へ
葉山町役場から

4/22 ~ 5/24

生ごみ分別 実証実験

にご協力をありがとうございます。

本日収集のごみの中に生ごみと燃やすごみが混在していたので、次回収集時は分別をお願いいたします。

1班・2班 収集スケジュール

2024年5月						
日	月	火	水	木	金	土
12	13	14	15	16	17	18
		生ごみ	容プラ	可燃		
19	20	21	22	23	24	25
		生ごみ	容プラ	可燃		

3班・4班 収集スケジュール

2024年5月						
日	月	火	水	木	金	土
12	13	14	15	16	17	18
		可燃	生ごみ	容プラ	生ごみ	
19	20	21	22	23	24	25
		可燃	生ごみ	容プラ	生ごみ	

分別・排出方法について

- ★ 人の口に入るもの（食べられるもの）
- ★ 卵の殻、調理くずや食品くず
- ★ 貝殻や骨など

卵の殻 調理くず 食品くず

貝殻 骨

テーパーバッグ/ドリップバッグ
※そのまま出せます

注意！
食品の包装は、容器プラ・燃やすごみ・ミックスペーパー等を出してください

●透明または半透明の袋に入れて出してください

●臭いが気になる場合は、袋を2重にしても出せます

●水切りネットのまま出せますが、水切りに使用した新聞紙等は燃やすごみへ

生ごみの水気をよくきる

分別がされて
いない場合

一色台地区の皆様へ
葉山町役場から

4/22 ~ 5/24

生ごみ分別 実証実験

にご協力をありがとうございます。

ごみ箱の中に分別された生ごみと燃やすごみが入っていました。本日は、【生ごみ・燃やすごみ】のみ収集いたします。

1班・2班 収集スケジュール

2024年5月						
日	月	火	水	木	金	土
12	13	14	15	16	17	18
		生ごみ	容プラ	可燃		
19	20	21	22	23	24	25
		生ごみ	容プラ	可燃		

3班・4班 収集スケジュール

2024年5月						
日	月	火	水	木	金	土
12	13	14	15	16	17	18
		可燃	生ごみ	容プラ	生ごみ	
19	20	21	22	23	24	25
		可燃	生ごみ	容プラ	生ごみ	

分別・排出方法について

- ★ 人の口に入るもの（食べられるもの）
- ★ 卵の殻、調理くずや食品くず
- ★ 貝殻や骨など

卵の殻 調理くず 食品くず

貝殻 骨

テーパーバッグ/ドリップバッグ
※そのまま出せます

注意！
食品の包装は、容器プラ・燃やすごみ・ミックスペーパー等を出してください

●透明または半透明の袋に入れて出してください

●臭いが気になる場合は、袋を2重にしても出せます

●水切りネットのまま出せますが、水切りに使用した新聞紙等は燃やすごみへ

生ごみの水気をよくきる

分別した上で、
ごみ箱に入っていた場合

II 実証実験

1 実証実験まとめ

一色台地区にて得られたごみ量実測値、組成分析調査、アンケート等による意見収集等による情報から実験結果をまとめました。

(1) 分別

① ごみの排出量（平均値）

組成分析調査により一人一日あたりのごみ排出量を算出しました。

品目	生ごみ週1回収集	生ごみ週2回収集
生ごみ	0.102 kg/日	0.204kg/日
燃やすごみ	0.267 kg/日	0.179kg/日

② ごみ排出量の増減率

実証実験前と比較し、「生ごみ」については、週1回収集では減少し、週2回収集では増加しました。

一方、「燃やすごみ」については、「生ごみ週1回収集」では増加し、「生ごみ週2回収集」では減少しました。

品目	生ごみ週1回収集	生ごみ週2回収集
生ごみ	-3.4%	+17.1%増加
燃やすごみ	+4.6%	-17.1%減少

③ 生ごみの分別率（平均値）

生ごみ分別収集に関する分別率は、生ごみ週2回収集では特に高い水準となりました。

区分	生ごみ週1回収集	生ごみ週2回収集
重量比 ^{※1}	78%	94.6%
数量比 ^{※2}	70.7%	75.1%

※1 分別率（重量比）＝生ごみ収集日に排出された生ごみ量÷1週間分の生ごみ総量

※2 分別率（数量比）＝生ごみ収集日に排出された生ごみのみの袋の数÷生ごみ収集日に排出された袋の総数

④ 分別誤りや迷いやすい品目の把握

分別率は高い水準で推移したことから、分別方法は概ねご理解いただけ
たと思いますが、アンケートの回答やご意見をいただいた品目は以下のと
おりです。

ア. アンケート調査により把握したもの

生ごみとして分別が迷う品目
【調理くずや食品くず等】 ○梅干しの種 ○タケノコの皮
【その他】 ○だしパック ○麦茶のパック ○生花 ○キッチンペーパー（油を拭きとったもの） ○ティーバッグ ○コーヒーフィルター

イ. 組成分析調査により把握したもの

混入のあった品目
○食品の容器包装（紙製・プラスチック製） ○水切りに使用した新聞紙 ○コーヒーフィルター ○アルミカップ ○ティッシュペーパー ○吸い殻

(2) 収集頻度

① 燃やすごみ

週1回収集により溜まったごみの保管場所、紙おむつやペットのふんの臭いに困ったとの意見が多くありました。

アンケート調査結果
○収集頻度が週1回になったことで 「問題なかった」と回答した割合：38名（59.4%） 「困ったことがあった」と回答した割合：25名（39.1%）
↓ 【理由（複数回答あり）】 溜まった燃やすごみの保管場所に困った：18名 おむつやペットのふんの臭いに困った：11名

約40%の世帯が「週2回収集でなければ困った」との回答があり、アンケート調査を深掘りするため、具体的にどのような理由でお困りだったのか聞き取り調査を行いました。その結果は、以下のとおりです。

追加聞き取り調査結果
<ul style="list-style-type: none">・大型連休中に大掃除をした。・自宅でバーベキューを開催した。・遠方に居住する家族が泊まりにきた。・紙おむつが普段使用している45Lのごみ袋に収まらない。・紙おむつが大量に出るので保管場所がない。・ペットシーツを1日1枚使用するので保管場所に困る。・宅配の包装等がかさばるので保管場所がない。・袋を分けたとしても紙等が重いため、玄関先まで往復できない。

聞き取り調査の結果から、大型連休で普段より多く排出することとなったため保管場所に困ったものの、普段の生活であれば週1回でも問題ないとの所見を伺うことができました。

また、紙おむつ（ペットシーツ含む）の保管と、ミックスペーパーの分別という2点の課題を抽出することができましたが、そのうちミックスペーパーについては、自宅から資源小屋が離れていることから、手間なく排出できる燃やすごみに混入させてしまっている実態を伺うことができました。

それらを改善するため、紙おむつ等の収集体制の検討及びミックスペーパーの分別啓発を実施してまいります。

② 生ごみ

週1回収集地区では、生ごみの臭いや溜まったごみの保管場所に困ったとの意見が多くありました。

アンケート調査結果	
○収集頻度が週1回になったことで	
「問題なかった」と回答した割合：22名（34.4%）	
「困ったことがあった」と回答した割合：34名（53.1%）	
↓	
【理由（複数回答あり）】	
生ごみの臭いに困った：25名	
溜まった生ごみの保管場所に困った：20名	

(3) 保管容器等

生ごみや紙おむつ等の保管時の臭い対策のため、希望者22世帯に保管容器（ごみ箱型、バケツ型、紙おむつ用）及び消臭剤を貸与しました。

区分	容量等	貸与世帯数
ごみ箱型容器	20ℓ	6世帯
	30ℓ	4世帯
	45ℓ	6世帯
バケツ型容器	11ℓ	10世帯
紙おむつ用容器	14ℓ	1世帯
消臭剤	—	12世帯
計	—	22世帯

（貸与世帯数について、複数台の希望があったため重複します。）



ごみ箱型



バケツ型



紙おむつ用



消臭剤

保管時の臭いについて

ごみ箱型は密閉性・気密性が高く、保管時に臭いを感じることはありませんが、蓋を開けて捨てる際に生ごみの臭いが気になったとのことでした。

また、今回の実証実験で初めて導入した消臭剤については、吹きかけ後に一定の効果が認められました。

区分	気になった	気にならなかった
ごみ箱型（16世帯）	50%（8世帯）	25%（4世帯）
バケツ型（10世帯）	20%（2世帯）	40%（4世帯）
紙おむつ用容器（1世帯）	0%（0世帯）	100%（1世帯）
消臭剤（12世帯）	42%（5世帯）	25%（3世帯）

※アンケート調査で未回答があったため、貸与世帯数と一致しません。

(4) 実験結果から分かったこと

① 分別方法

組成分析調査やアンケート調査等から、「生ごみ」と「燃やすごみ」の分別は概ね問題ないという結果が得られました。

その一方、生ごみの堆肥化処理をご理解いただき、【梅干しの種・タケノコの皮】を生ごみとして排出してよいか迷うとのご意見もありました。

それを踏まえ、「生ごみ」の定義については「人の口に入るもの」を基本とし、上記【梅干しの種・タケノコの皮】に加え【そら豆や枝豆等、豆類のさや】等は一覧表に追加する必要があります。

② 収集頻度の変更

燃やすごみについては、「週1回収集でも問題なかった」と回答した割合が59.4%となった一方で「週2回収集でなければ困った」と回答した割合が39.1%となり、紙おむつを使用している世帯やペットを飼っている世帯からは、臭いや保管場所の問題から週2回収集を希望する声が聞かれ、燃やすごみとは分けて収集する等の対策を検討する必要があります。

一方、生ごみについては「週1回収集でも問題なかった」と回答した割合が34.4%となった一方で「週2回収集でなければ困った」と回答した割合が53.1%となりました。生ごみの一人あたりの排出量はそれほど多くはないのですが、保管時における臭いや虫が湧く等の意見は実証実験の地区を変えても多く寄せられました。

③ 保管容器等の貸与

臭い対策のため貸与した保管容器等について、ごみ箱型及びバケツ型は密閉性・気密性が高い製品で検証したこともあり、蓋の開閉時を除き、概ね効果が認められました。

しかし、バケツ型はコバエが湧く等の意見がありました。

また、消臭剤は、吹きかけ後には一定の効果があったものの、生ごみを長期間保管すると揮発してしまい、効き目が減少してしまいました。

(5) 今後の検討課題

- ① 分 別：生ごみの定義の決定
⇒より詳細な生ごみ例を追加

- ② 収 集：収集頻度の変更
⇒生ごみ週2回・燃やすごみ週1回収集、紙おむつ収集の検討

- ③ 保 管：保管容器の導入方法
⇒保管容器の紹介・販売等の方法を検討

2 組成分析調査

排出された「生ごみ」と「燃やすごみ」の一人一日あたりのごみ排出量の把握や生ごみ分別の周知によるごみ量の推移、排出方法等を把握するため、組成分析調査を実施しました。

(1) 対象ごみ

対象世帯（116世帯）から排出された「生ごみ」と「燃やすごみ」

(2) 組成区分

分類区分は、「生ごみ」、「燃やすごみ」、「不適物（金属・ガラス類等）」の3区分としました。

(3) 調査日

表Ⅱ－1 組成分析調査実施日

調査	年月日	分別品目
第1回	令和6年4月16日（火）	燃やすごみ（生ごみを含む）
第2回	令和6年4月19日（金）	燃やすごみ（生ごみを含む）
第3回	令和6年4月22日（月）	A地区：収集なし
		B地区：燃やすごみ
第4回	令和6年4月23日（火）	A地区 B地区共通：生ごみ
第5回	令和6年4月26日（金）	A地区：燃やすごみ
		B地区：生ごみ
第6回	令和6年5月6日（月）	A地区：収集なし
		B地区：燃やすごみ
第7回	令和6年5月7日（火）	A地区 B地区共通：生ごみ
第8回	令和6年5月10日（金）	A地区：燃やすごみ
		B地区：生ごみ
第9回	令和6年5月20日（月）	A地区：収集なし
		B地区：燃やすごみ
第10回	令和6年5月21日（火）	A地区 B地区共通：生ごみ
第11回	令和6年5月24日（金）	A地区：燃やすごみ
		B地区：生ごみ

※実証実験前後の排出量を比較するため、4月16日から組成分析調査を行いました。

3 調査集計

(1) 分別収集量

4月から5月に行った組成分析調査から、ごみ排出量及び分別割合について、A地区（生ごみ週1回収集）とB地区（生ごみ週2回収集）に分けて、以下に示します。

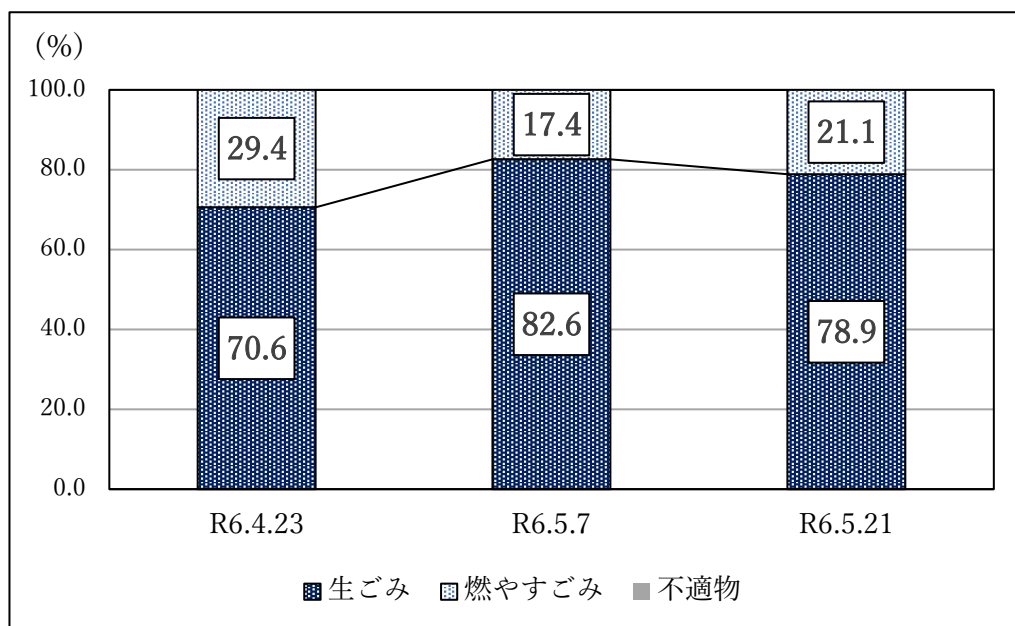
【生ごみ収集日】

表Ⅱ-2 A地区（生ごみ週1回収集）で「生ごみ」収集日のごみ排出量

(単位：kg)

品目	R6.4.23	R6.5.7	R6.5.21	平均
生ごみ	76.6	105.3	37.7	73.2
燃やすごみ	31.9	22.2	10.1	21.4
不適物	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	108.5	127.5	47.8	94.6

図Ⅱ-1 A地区（生ごみ週1回収集）で「生ごみ」収集日のごみ分別割合

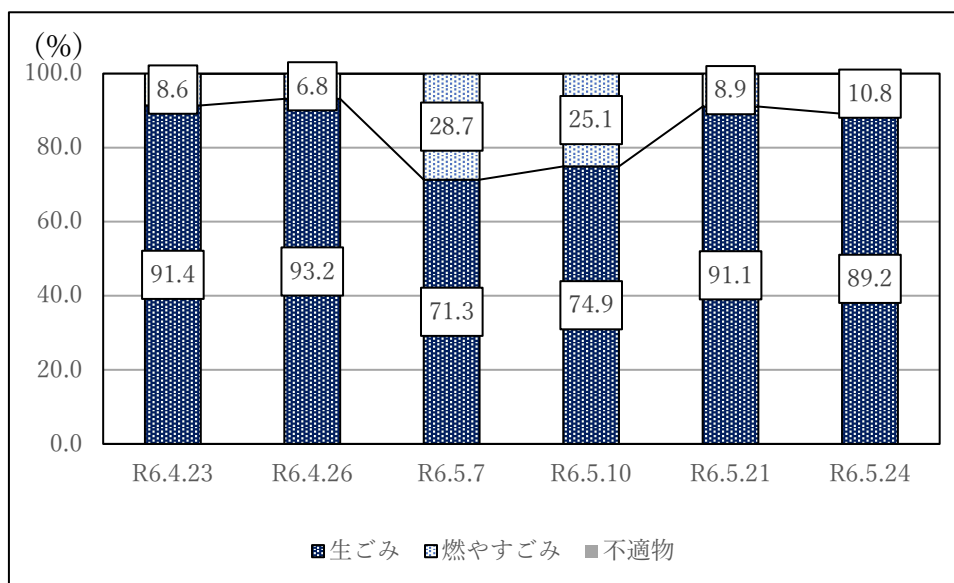


表Ⅱ-3 B地区（生ごみ週2回収集）で「生ごみ」収集日のごみ排出量

(単位：kg)

品目	R6.4.23	R6.4.26	R6.5.7	R6.5.10	R6.5.21	R6.5.24	平均
生ごみ	37.1	92.9	46.3	29.3	109.4	26.3	56.9
燃やすごみ	3.5	6.8	18.6	9.8	10.7	3.2	8.8
不適物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	40.6	99.7	64.9	39.1	120.1	29.5	65.7

図Ⅱ-2 B地区（生ごみ週2回収集）で「生ごみ」収集日のごみ分別割合



【結果】

A地区（生ごみ週1回収集）における「生ごみ」収集日に排出された生ごみの分別割合は、70.6%、82.6%、78.9%でした。

一方、B地区（生ごみ週2回収集）における「生ごみ」収集日に排出された生ごみの分別割合は、平均で86.6%と更に分別精度が高い水準で推移しました。

【考察】

生ごみ週1回収集では、週2回収集よりも多くの燃やすごみが混入する結果となり、排出機会を抑制すると分別意識が低下すると推測されます。

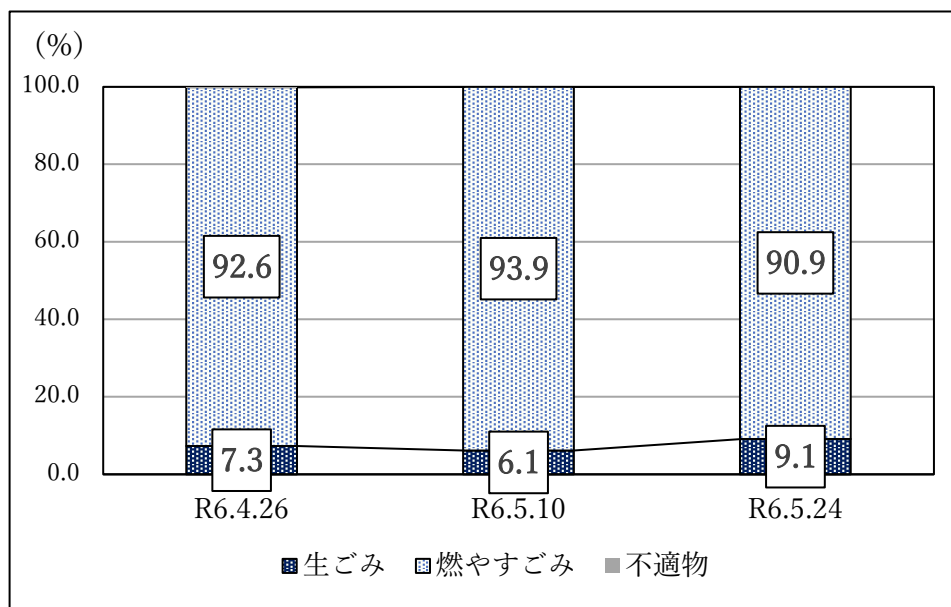
【燃やすごみ収集日】

表Ⅱ-4 A地区（生ごみ週1回収集）で「燃やすごみ」収集日のごみ排出量

(単位：kg)

品目	R6.4.26	R6.5.10	R6.5.24	平均
生ごみ	17.3	14.7	20.4	17.5
燃やすごみ	219.0	225.2	203.5	215.9
不適物	0.3	0.0	0.0	0.1
合計	236.6	239.9	223.9	233.4

図Ⅱ-3 A地区（生ごみ週1回収集）で「燃やすごみ」収集日のごみ分別割合

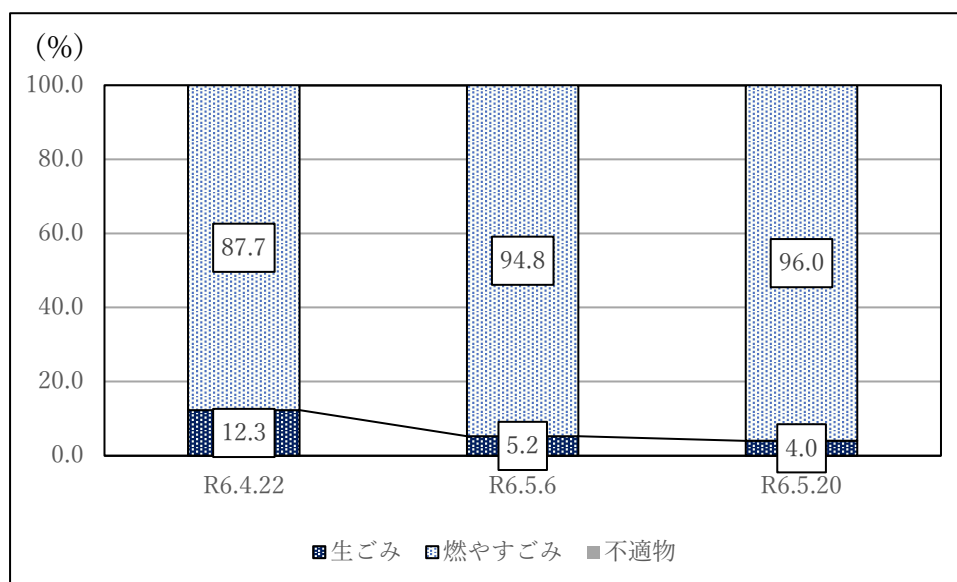


表Ⅱ-5 B地区（生ごみ週2回収集）で「燃やすごみ」収集日のごみ排出量

(単位：kg)

品目	R6.4.22	R6.5.6	R6.5.20	平均
生ごみ	8.2	6.2	3.9	6.1
燃やすごみ	58.6	112.2	92.3	87.7
不適物	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	66.8	118.4	96.2	93.8

図Ⅱ-4 B地区（生ごみ週2回収集）で「燃やすごみ」収集日のごみ分別割合



【結果】

A地区（生ごみ週1回収集）における「燃やすごみ」収集日に排出された生ごみの分別割合は、7.3%、6.1%、9.1%でした。

一方、B地区（生ごみ週2回収集）における「燃やすごみ」収集日に排出された生ごみの分別割合は、12.3%、5.2%、4%と徐々に減少する結果となりました。

【考察】

燃やすごみの分別割合はいずれの地区も概ね90%を超えましたが、生ごみ週1回収集では、燃やすごみの中に分別された生ごみが混入しているケースがあり、実証実験（分別収集）を理解した上で、やむを得ず排出していると想定されます。

(2) 「生ごみ」及び「燃やすごみ」の一人一日あたりの排出量

① 組成分析調査

1週間に排出されたごみ排出量から、一人一日あたりの「生ごみ」及び「燃やすごみ」排出量（以下「一人あたりのごみ量」という。）を算出し、A地区（生ごみ週1回収集）とB地区（生ごみ週2回収集）に分けて、以下に示します。

なお、一色台自治会への登録世帯数は116世帯ですが、実証実験前後に継続してごみを排出していた世帯は約80世帯であり、その他の世帯は別宅や事務所等で使用していると推測されます。

アンケート調査の回答による世帯数及び居住人数の66世帯161名に、未回答であるが居住していると思われる世帯及び居住人数を合算し、今回の実証実験における調査対象世帯及び人数は87世帯211名とします。

表Ⅱ-6 一色台地区における居住人数（推定含む）

	A地区 (生ごみ週1回収集)	B地区 (生ごみ週2回収集)
アンケート	35世帯91名	31世帯70名
想定※1	15世帯36名※2	6世帯14名
計	50世帯127名	37世帯84名
合計	87世帯211名	

※1 想定世帯は実証実験前後において、ごみの排出があった世帯の最大件数から、アンケートの回答世帯を除いて算出しています。(A地区：5/24 50世帯 B地区：4/16 37件)

※2 想定世帯人数は、アンケート調査による平均世帯人数から2.4人と推測して算出しています。

表Ⅱ－7 A地区（生ごみ週1回収集）における1週間あたりのごみ排出量

(単位：kg)

品目	実証実験前				実証実験後				
	4月16日	4月19日	平均		4/23~26	5/7~10	5/21~24	平均	
生ごみ	60.1	63.7	61.9	31.0%	93.9	120.0	58.1	90.7	27.6%
燃やすごみ	140.4	129.8	135.1	67.7%	250.9	247.4	213.6	237.3	72.3%
不適物	5.3	0.0	2.7	1.3%	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1%
合計	205.8	193.5	199.6	100%	345.1	367.4	271.7	328.1	100%

表Ⅱ－8 A地区（生ごみ週1回収集）における一人あたりのごみ量

(単位：kg)

品目	実証実験前			実証実験後			
	4月16日	4月19日	平均	4/23~26	5/7~10	5/21~24	平均
生ごみ	0.068	0.072	0.070	0.106	0.135	0.065	0.102
燃やすごみ	0.158	0.146	0.152	0.282	0.278	0.240	0.267

A地区における一人あたりのごみ量について、実証実験前では「生ごみ」が平均0.070kg、「燃やすごみ」が平均0.152kgでした。

実証実験後の一人あたりのごみ量は、「生ごみ」が平均0.102kg、「燃やすごみ」が平均0.267kgでした。

表Ⅱ－９ B地区（生ごみ週2回収集）における1週間あたりのごみ排出量

(単位：kg)

品目	実証実験前				実証実験後				
	4月16日	4月19日	平均		4/22~26	5/6~10	5/20~24	平均	
生ごみ	42.1	35.4	38.8	36.2%	138.2	81.8	139.6	119.9	53.3%
燃やすごみ	82.3	54.4	68.4	63.8%	68.9	140.6	106.2	105.2	46.7%
不適物	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
合計	124.4	89.8	107.1	100%	207.1	222.4	245.8	225.1	100%

表Ⅱ－10 B地区（生ごみ週2回収集）における一人あたりのごみ量

(単位：kg)

品目	実証実験前			実証実験後			
	4月16日	4月19日	平均	4/22~26	5/6~10	5/20~24	平均
生ごみ	0.072	0.060	0.066	0.235	0.139	0.237	0.204
燃やすごみ	0.140	0.092	0.116	0.117	0.239	0.181	0.179

一方、B地区における一人あたりのごみ量は、実証実験前では「生ごみ」が平均0.066kg、「燃やすごみ」が平均0.116kgでした。

実証実験後の一人あたりのごみ量は、「生ごみ」が平均0.204kg、「燃やすごみ」が平均0.179kgでした。

【考察】

A地区における「生ごみ」と「燃やすごみ」の1週間あたりのごみ量は、生ごみが3.4%減少し、燃やすごみが4.6%増加したことから、分別収集を理解しているが、保管時の臭いや保管場所の確保ができず、生ごみを燃やすごみに混入して排出していることが伺えます。

一方、B地区における「生ごみ」と「燃やすごみ」の1週間あたりのごみ量は、生ごみが17.1%増加し、燃やすごみが17.1%減少したことから、適切な分別が行われたと考えられます。

なお、実験期間中に大型連休が重なったことから、別宅として利用されている方が帰省されたことや、来客等によりごみの排出量が増加したと考えられます。

(3) 分別率

① 重量比

1週間に排出された生ごみ総量のうち、「生ごみ」収集日に排出された生ごみ量の割合をA地区（生ごみ週1回収集）とB地区（生ごみ週2回収集）に分けて、以下に示します。

【分別率（重量比）の算定式】

算定式	
分別率（重量比）	$= \frac{\text{「生ごみ」収集日に排出された生ごみ量}}{\text{1週間分の生ごみ総量【「生ごみ」及び「燃やすごみ」収集日に排出された生ごみ総量】}}$

【結果】

表Ⅱ－11 A地区（生ごみ週1回収集）における分別率（重量比）

4/23～26	5/7～5/10	5/21～5/24
81.6%	87.8%	64.6%

表Ⅱ－12 B地区（生ごみ週2回収集）における分別率（重量比）

4/22～26	5/6～5/10	5/20～5/24
94.1%	92.4%	97.2%

【考察】

B地区（生ごみ週2回収集）では実験開始当初から90%を超える高い水準で推移したのに対し、A地区（生ごみ週1回収集）では平均78%の分別率となり、排出機会の減少が分別意識を低下させていると想定されます。

② 数量比

「生ごみ」収集日に排出された袋の総数のうち、生ごみだけの袋数を A 地区（生ごみ週 1 回収集）と B 地区（生ごみ週 2 回収集）に分けて、以下に示します。

【分別率（数量比）の算定式】

算定式	
分別率（数量比）	= $\frac{\text{「生ごみ」収集日に排出された生ごみだけの袋の数}}{\text{「生ごみ」収集日に排出された袋の総数}}$

【結果】

表Ⅱ－13 A 地区（生ごみ週 1 回収集）における袋数における分別率

区分	4月23日（火）		5月7日（火）		5月21日（火）	
	袋数	割合	袋数	割合	袋数	割合
生ごみのみ	44	73.3%	35	55.6%	54	83.1%
生ごみ以外の混入物あり	16	26.7%	28	44.4%	11	16.9%
全体	60	100%	63	100%	65	100%

表Ⅱ－14 B 地区（生ごみ週 2 回収集）における袋数における分別率

区分	4月23日（火）		4月26日（金）		5月7日（火）		5月10日（火）		5月21日（火）		5月24日（金）	
	袋数	割合	袋数	割合	袋数	割合	袋数	割合	袋数	割合	袋数	割合
生ごみのみ	23	79.3%	27	75.0%	19	59.4%	22	75.9%	28	70.0%	31	91.2%
生ごみ以外の混入物あり	6	20.7%	9	25.0%	13	40.6%	7	24.1%	12	30.0%	3	8.8%
全体	29	100%	36	100%	32	100%	29	100%	40	100%	34	100%

※ 2 袋以上で排出する世帯や排出しなかった世帯もあり、対象世帯数とは一致しません。

【考察】

「生ごみ」収集日に排出されるごみの中には、アルミカップ、容器包装（紙製）などがわずかながらも混入していたほか、未開封食品がそのまま排出されている事例も確認されました。

大型連休後を除き、実験を通して見ると高い分別率であったものの、更なる分別率を上げるためには、分別に迷いやすい品目をより分かりやすく明示して周知していく必要があると考えます。

(4) 生ごみ以外のものの混入状況

「生ごみ」排出日に排出された混入物の一例は、次のとおりです。

アルミカップ	ミックスーパー
	

写真 生ごみ以外のものの混入状況

【結果】

「生ごみ」収集日に排出された生ごみ以外の混入物については、全体を通して割合は低かったものの、アルミカップ、食品の容器包装（ミックスーパー及び容器包装プラスチック）などの混入が見られました。

【考察】

分別率の向上を図るためには、収集時に異物が混入していないか確認しやすくなるように、透明袋での排出を徹底する必要があります。

また、分別に迷う品目や混在しやすい品目について、一覧表を作成するなど、容易に判断出来るよう工夫する必要があります。

一方、容器包装（紙製・プラスチック製）については、生ごみとの分別が比較的容易であるため、一層の周知啓発を図ります。

(5) 周知啓発の効果

収集時に分別がなされていないと判断できる世帯及び「生ごみ」と「燃やすごみ」が分別された上で、一緒に排出されている世帯があったことから、図Ⅰ-2 実験中チラシを5月13日の収集からポスト投函し、その効果を検証しました。

図Ⅰ-2 実験中チラシ【再掲】



分別がされていない場合

分別した上で、ごみ箱に入っていた場合

表Ⅱ-15 不適切な排出により周知啓発を行った件数

	A地区	B地区
分別がされていない	5件	2件
分別した上で、ごみ箱内で混在	1件	4件

【結果】

分別がされていない7世帯は、周知チラシ投函後も生ごみ・燃やすごみだけでなく、容器包装プラスチック等も混在して排出され続け、改善が見られませんでした。

一方、分別してごみ箱内で混在していた5世帯は、次回収集のごみを前もって排出していたと判明しました。

Ⅲ 意見・質問・要望等

1 アンケート

実証実験協力世帯を対象に実施しました。

① 対象世帯数

116世帯

② 調査票配布

ア. 配布日：令和6年5月21日（火）

イ. 配布方法：環境課職員によるポスティング

③ 調査票回答

ア. 回答期限：令和6年5月27日（月）

イ. 回答方法：自治会各班長へ提出

④ 調査項目

分別方法の理解

分別の難易度

収集頻度が減少して困ったこと

配布したチラシでの伝達方法

保管容器の使用状況

全町で開始する分別開始の浸透状況

⑤ 調査結果

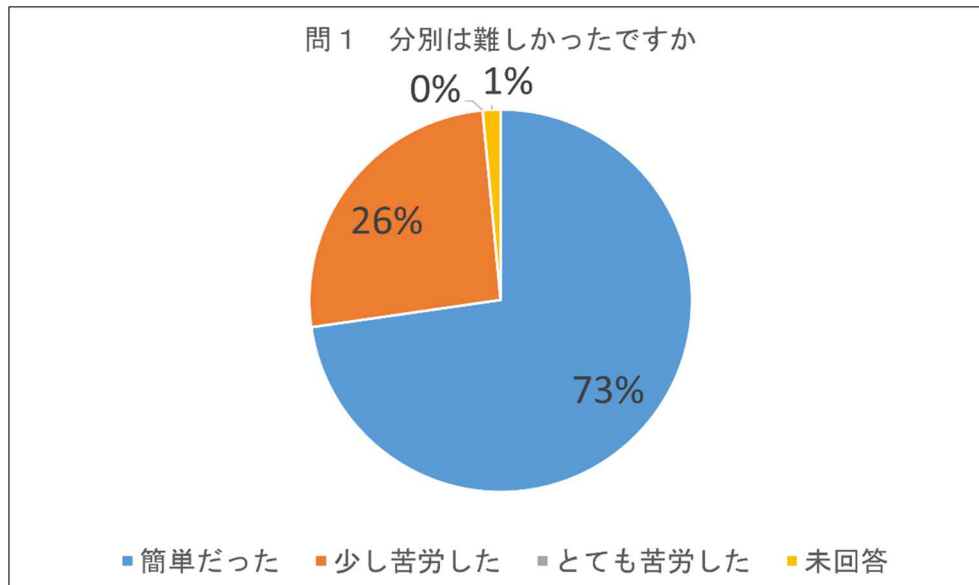
回答数：66世帯

集計方法：複数回答、未記入もあるため、全ての回答実数を記載

問 1

生ごみの分別は難しかったですか。捨てるときに「分別に迷った生ごみ」があればご記入ください。

- 簡単だった : 48人 (72.7%)
- 少し苦労した : 17人 (25.8%)
- とても苦労した : 0人 (0%)
- 未回答 : 1人 (1.5%)



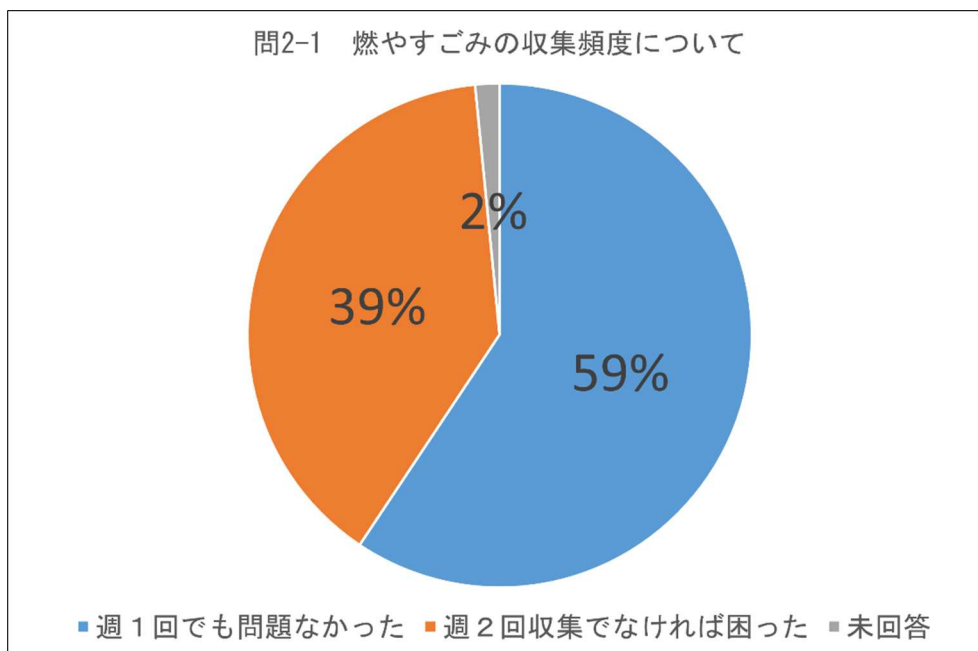
※分別に迷った生ごみ

- 貝類
- 梅干しの種
- タケノコの皮
- だしパック
- 麦茶パック
- コーヒーかす
- コーヒーフィルター、ティーバッグ
- 生花
- 皮の厚いみかん

問2 収集頻度が変更となり困ったことはありましたか。

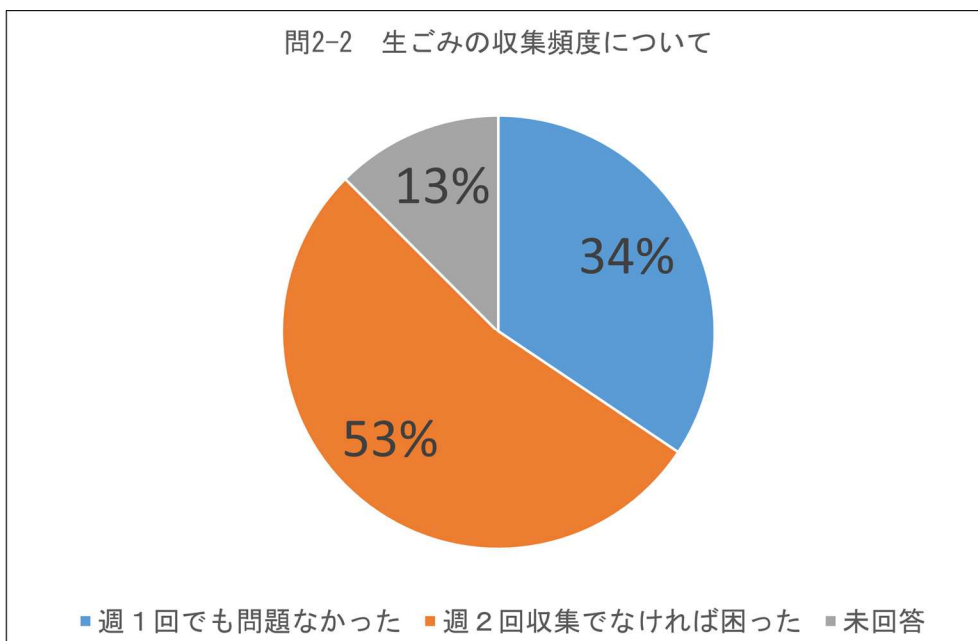
①燃やすごみ

- 週1回収集でも問題なかった : 38人(59.4%)
- 週2回収集でなければ困った : 25人(39.1%)
- 未回答 : 1人(1.6%)



②生ごみ

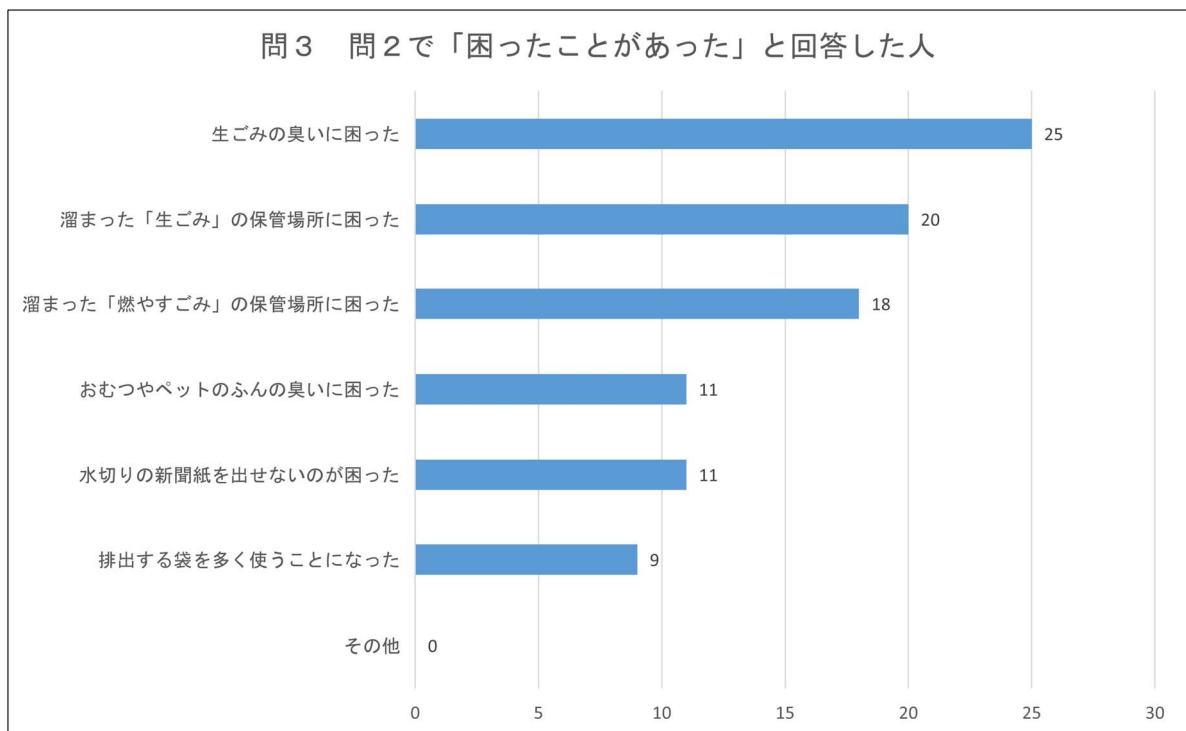
- 週1回収集でも問題なかった : 22人(34.4%)
- 週2回収集でなければ困った : 34人(53.1%)
- その他 : 8人(12.6%)



問3

問2で「困ったことがあった」と回答した人にお尋ねします。困ったことがあった理由を教えてください。（複数回答可）

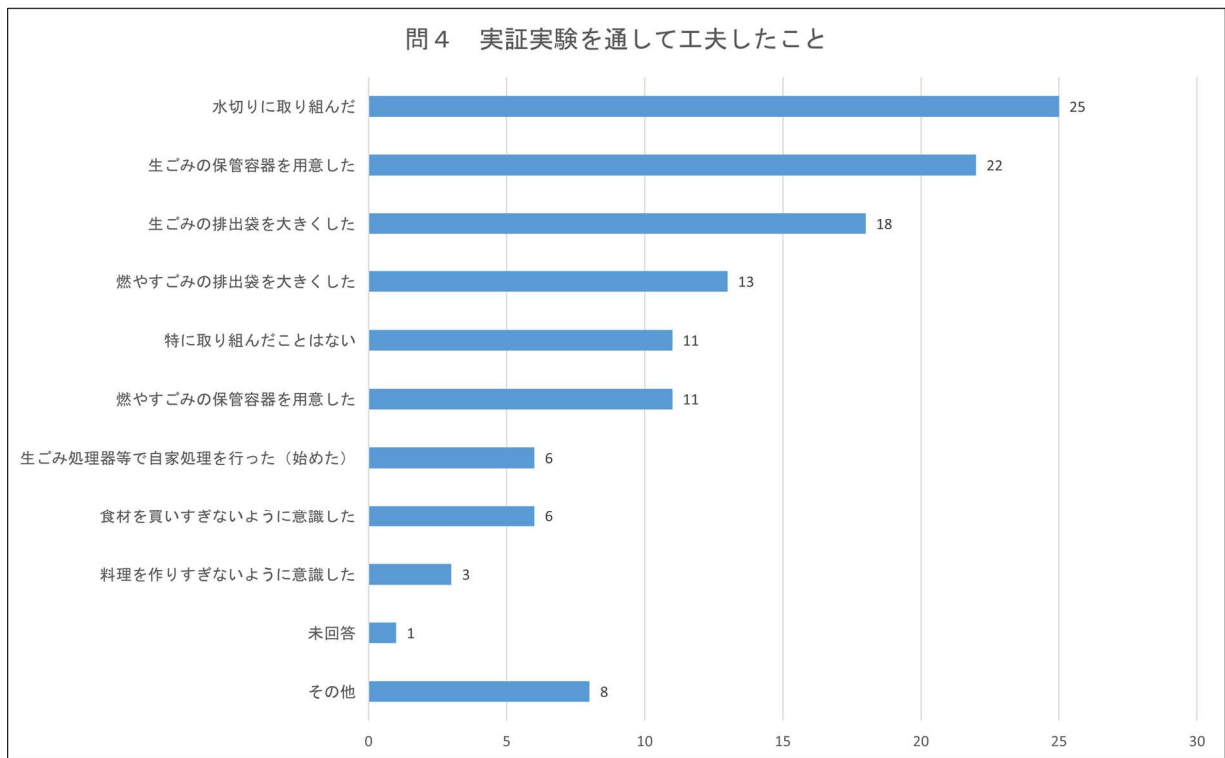
- 生ごみの臭いに困った : 25人
- 溜まった「生ごみ」の保管場所に困った : 20人
- 溜まった「燃やすごみ」の保管場所に困った : 18人
- おむつやペットのふんの臭いに困った : 11人
- 水切りの新聞紙を出せないのが困った : 11人
- 排出する袋を多く使うことになった : 9人
- その他 : 0人



問 4

実証実験を通して工夫したことはありますか。(複数回答可)

- 水切りに取り組んだ : 25人
- 生ごみの保管容器を用意した : 22人
- 生ごみの排出袋の大きさを変えた : 18人
- 燃やすごみの排出袋の大きさを変えた : 13人
- 特に取り組んだことはない : 11人
- 燃やすごみの保管容器を用意した : 11人
- 生ごみ処理器等で自家処理を行った(始めた) : 6人
- 食材を買いすぎないように意識した : 6人
- 料理を作りすぎないように意識した : 3人
- 未回答 : 1人
- その他 : 8人

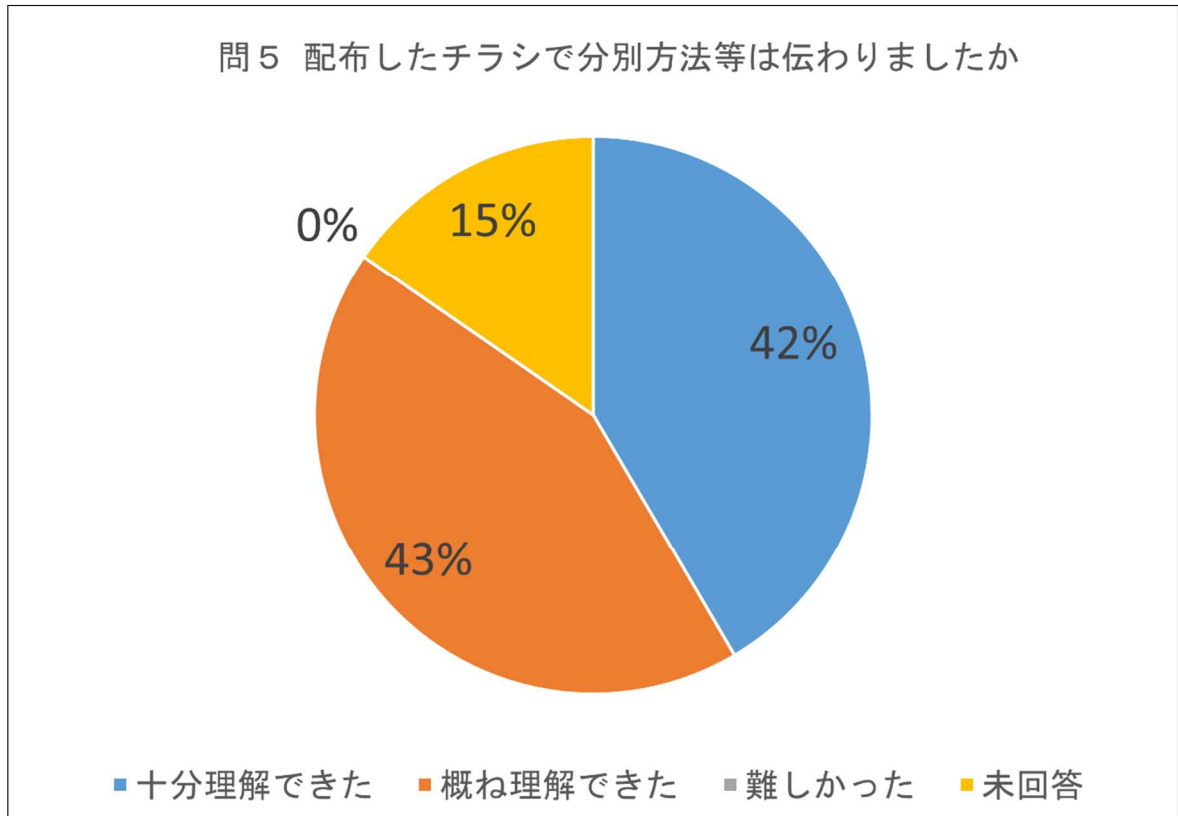


※その他の回答

- 臭いの強い食材はなるべく収集前日に使用した。
- いつも出している可燃ごみを資源ごみに出す量が増えた。
- 魚料理は生ごみ回収の近い日に調理した

問5	実証実験周知チラシで、「生ごみ」の分別方法や排出方法を理解できましたか。
----	--------------------------------------

- 十分理解できた : 27人（41.5%）
- 概ね理解できた : 28人（43.1%）
- 理解できなかった : 0人（0%）
- 未回答 : 10人（15.4%）



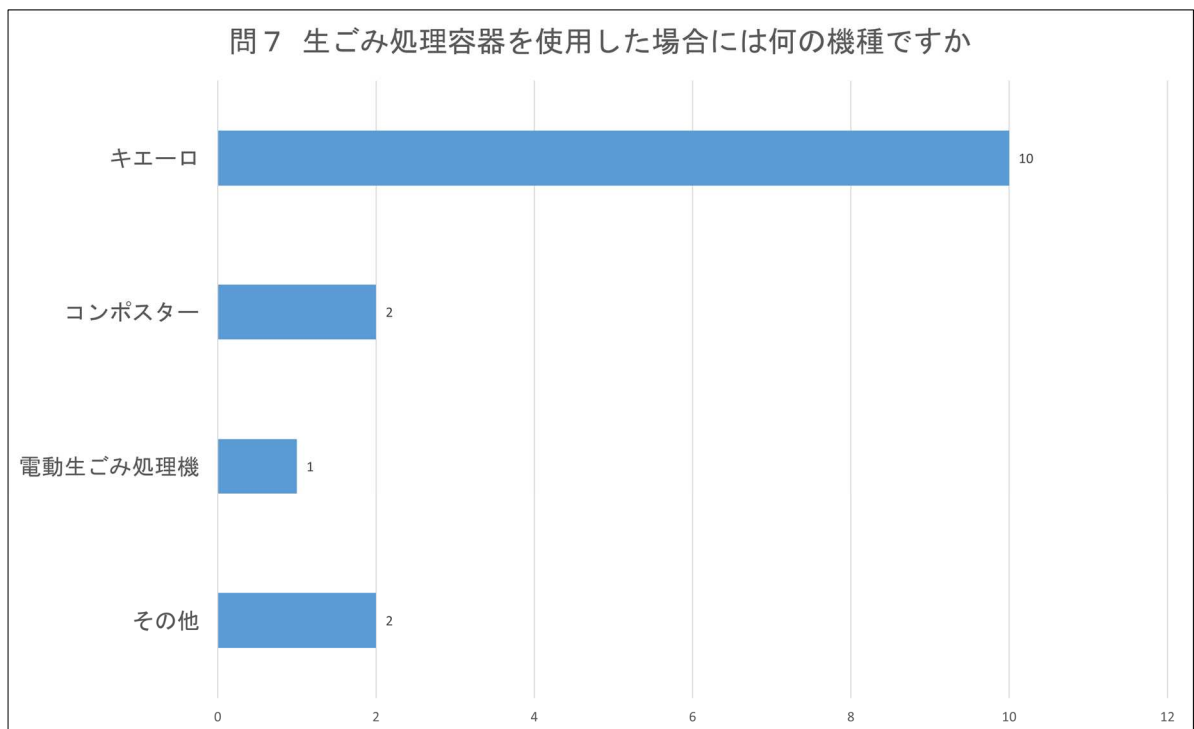
問6	問5で「難しかった」と回答した人にお尋ねします。どのようなことが不明瞭で、なにを記載すべきでしたか。
----	--

難しかったと回答した方がいないため回答はありませんでした。

問7	生ごみ処理容器（キエーロや電動生ごみ処理機等）をお持ちの方にお伺いします。実証実験中に生ごみ処理容器は使用しましたか。また、その機種をお教えてください。
----	--

- 使用した : 15人（31.9%）
- 使用しなかった : 12人（25.5%）
- 未回答 : 20人（42.6%）

（使用した機種）



※その他の回答
ミラコンポ（2人）

問 8	保管容器を貸与した方のみにお伺いします。保管容器に何のごみを入れましたか。また、使用した際に臭いは気になりましたか。（複数回答可）
-----	---

（使用者：27人）

- ごみ箱型 ： 16人
- バケツ型 ： 10人
- 紙おむつ用 ： 1人

保管したごみと臭いの状況について

使用した保管容器	保管したごみ	臭いについて		
		気になった	気にならなかった	その他
ごみ箱型（20ℓ）	生ごみ	5人	1人	0人
ごみ箱型（30ℓ）		2人	1人	0人
ごみ箱型（45ℓ）		1人	2人	0人
バケツ型（11ℓ）		2人	4人	0人
計		10人	8人	0人

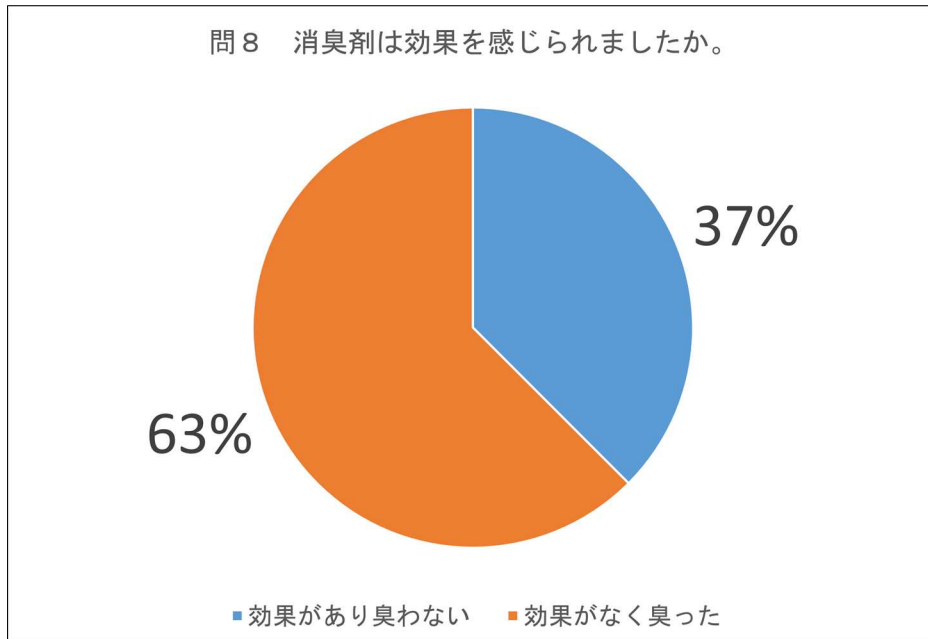
使用した保管容器	保管したごみ	臭いについて		
		気になった	気にならなかった	その他
紙おむつ用	紙おむつ	0人	1人	0人

※「臭いが気になった」と回答した人に聞き取りしたところ、保管容器の蓋が閉まっている状態では臭いは気にならず、蓋を開けて捨てる際に臭いが気になったとのことでした。

問9 消臭剤を貸与した方のみにお伺いいたします。効果は感じられましたか。

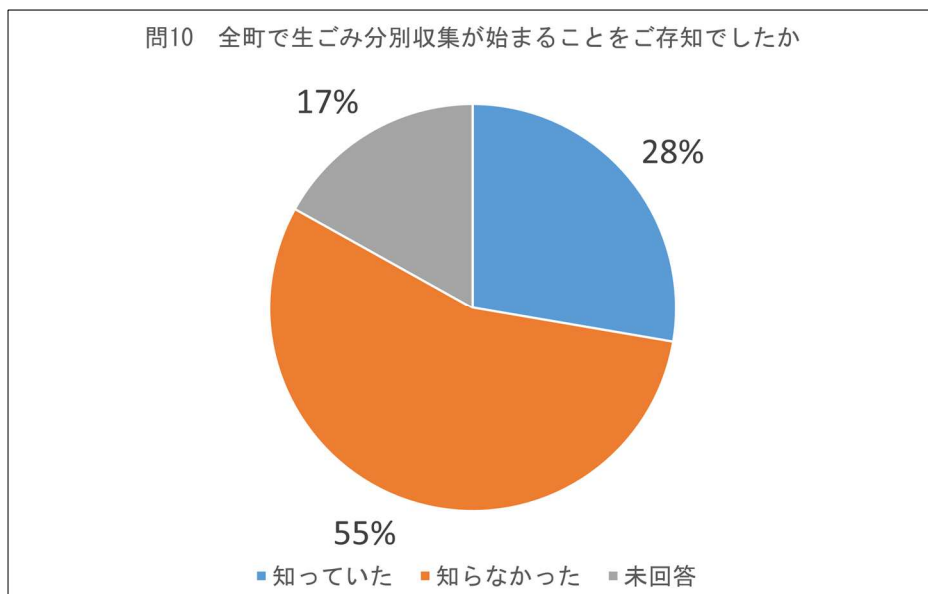
(使用者：12人)

- 効果があり臭うことはなかった : 3人 (37.5%)
- ほとんど効果がなく臭った : 5人 (62.5%)



問10 来年3月から全町で生ごみ分別収集を開始することをご存じでしたか。

- 知っていた : 18人 (27.7%)
- 知らなかった : 36人 (55.4%)
- 未回答 : 11人 (16.9%)



【実証実験に関するご意見があれば、ご自由に記入してください。】

自由記述でご意見をいただいた主な内容は次のとおりでした。

- 生ごみ週1回収集では臭いが気になる：5人
- 生ごみ保管による虫の発生に困る：4人
- 燃やすごみを週2回にしてほしい：2人
- 分けると保管スペースが必要になる：2人
- 紙オムツがあると燃やすごみ週1回ではつらい：2人
- 生ごみの水切りに新聞紙を使いたい：2人
- 収集日に不在となった場合に、2週間分のごみが溜まってしまうのは困る。：2人

(その他の意見)

- ごみ分別の負担が大きいので考慮してほしい。
- 生ごみ・燃やすごみ・容プラは週1回で良いので廃プラスチックを月2回にしてほしい。
- 生ごみ堆肥の希望者がどれだけいるのか。
- 削減された財源の用途を説明してほしい。
- 収集は有料化し、ごみを出す側の負担を減らしてほしい。
- 様々な取り組みをして下さって、どうもありがとうございます。

【参考】上山口・真名瀬・三ヶ浦・一色台地区実験結果（概要）

項目		上山口地区	真名瀬地区	三ヶ浦地区	一色台地区
年度		令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和6年度
区域		全域	希望者	希望者	全域
季節		10月～12月	6月～8月	11月～1月	4月～5月
生ごみの定義		人の口に入るもの (食べられるもの)	人の口に入るもの (食べられるもの)	人の口に入るもの (食べられるもの)	人の口に入るもの (食べられるもの)
排出方法 (下段は結果)	袋	透明又は半透明	可燃ごみ：透明又は半透明 生ごみ：指定袋	透明又は半透明	透明又は半透明
	2重袋以上	可 (57%)	不可 (4%)	可 (73%)	可
	水切りネット	可 (13%)	不可 (2%)	可 (27%)	可
	ティーバッグ等	可 (10%)	不可 (6%)	可 (20%)	可
	未開封食品	素材ごとに分別 (3%)	素材ごとに分別 (0%)	素材ごとに分別 (0%)	素材ごとに分別
	水切り用新聞紙	不可 (3%)	不可 (2%)	不可 (0%)	不可
ごみ排出量	生ごみ	0.110kg/日	週1回:0.104kg/日	0.151kg/日	週1回:0.102kg/日
			週2回:0.117kg/日		週2回:0.204kg/日
ごみ排出量	燃やすごみ	0.143kg/日	0.136kg/日	0.146kg/日	生ごみ週1回地区： 0.267kg/日
					生ごみ週2回地区： 0.179kg/日
ごみ排出量の増減率	生ごみ	△17.9%	週1回:△8.8%	4.9%	週1回:△3.4%
			週2回:2.6%		週2回:17.1%
	燃やすごみ	△19.6%	△17.6%	△23.6%	生ごみ週1回地区： 4.6%
					生ごみ週2回地区： △17.1%
生ごみ分別率	重量比	89.1%	93.6%	94.5%	93.6%
	数量比	79.1%	89.0%	90.6%	89.0%